

令和5年1月31日

豊後大野市議会

議長 衛 藤 竜 哉 様

総務常任委員会

委員長 嶺 英治



総務常任委員会所管事務調査 結果報告書

2022 市民と議会の意見交換会における市民から市に対する意見・質疑について、内容を調査するため、令和5年1月24日に総務常任委員会を開催しました。

委員会では執行部から説明を受けたあと、委員全員で検討した結果、下記のとおり見解がまとまりましたので報告します。

記

1 指定管理者選定等委員会の委員の選定について

(意見1) 議員の皆さんと市民の皆さんとの気持ちが乖離しているのではないかと、もう一回真摯に考えていただきたい。

豊後大野市の指定管理者の選定には条項にはっきりした決まりがない。他市のように、外部の者が1/2以上いなければならないといった定めはない。透明性の確保のためにもそういった条項をつくる働きかけをお願いしたい。

(意見2) ココミオの指定管理の選定委員の選定方法は、まちづくりの課長によると公募で選んだとはっきり議会で答えている。一般市民も応募できるのなら、一般市民から1/2以上を選ぶというような規則にしていきたい。

(総務常任委員会の見解)

これまで施設等の指定管理を実施する場合には、豊後大野市指定管理者選定等委員会設置要綱に規定された、主に副市長や統括理事等を委員とした選定委員会を開催し、申請団体等の書類審査や面接審査等により、指定管理候補者の選定を行ってきました。

しかしながら、令和4年6月に開催された第2回定例会の一般質問の中で、指定管理者選定等委員会の公平性、透明性の確保という観点からみれば、識見を有した外部

委員を積極的に活用すべきではないか等の指摘があったことから、執行部として、専門性や公平性に基づく委員の構成や、効果的、効率的な委員会開催に向けた担当事務局の選任等について検討を重ねてきました。

その結果、令和4年8月に実施した、豊後大野市関係人口交流拠点施設に関する指定管理候補者の選定に際しては、当該施設に特化した指定管理者選定等委員会設置要綱を制定し、委員会においては全5名の委員の中に3名の外部委員を選任し、実施したとのことです。

今後の指定管理者選定等委員会の委員の選定に関しましては、①新規の施設等について、新たに指定管理者制度を導入する場合、②指定管理委託料の財源に国、県の補助金が含まれている場合、③K P I等の成果指標等が設定されている場合、④他の自治体と共同で指定をする場合、などについては、原則、対象施設に特化した指定管理者選定等委員会設置要綱を個別に制定し、選定委員の構成も個別施設に関する識見を有した外部委員を活用し、専門性や公平性のある効果的、効率的な選定委員会の開催に努めるとのことでした。

なお、関係人口交流拠点施設の指定管理候補者選定委員は公募しておらず、まちづくり推進課長からも、議会では「選定委員を公募した」旨の発言は行っていないとの回答がありました。

以上の内容を検討した結果、豊後大野市関係人口交流拠点施設の指定管理候補者の選定については、識見を有した外部委員が含まれる選定委員会において、公平かつ効果的に行われたと認められます。

今後の指定管理者選定等委員会においても、一定の要件（例：K P I等の成果指標が設定されている場合等）を満たした施設については、識見を有した外部委員を活用していくことから、専門性や公平性のある効果的、効率的な選定委員会の開催が期待できると結論づけました。